

誰もが自らの持ち味を発揮できる、適材適所で個々が輝く集団づくり

Fukiya design.

活動の目的

岡山県を中心とする土地力あるフィールドにおいて実施している『秘密基地生活』という名の子ども社会づくり研修の活動をと

おして、
〔参加する子どもたちにとっては〕

初対面・異年齢の集団で自律した社会をつくる生活の中で、自分とはどんな個性・持ち味をそこに提供することができるのかを考え実践することで、社会との関わりの中で生かしていくことができる自らの魅力を発見する。

〔地域社会にとっては〕

個々ではなく一律な導きをおこなおうとする「形式的平等主義」の姿勢をあらため、個々それぞれの魅力を生かし伸ばしていく「公正な個別最適化」の姿勢へと教育の方向性が向かうよう、この活動による“成功モデル”を示していく。

活動の内容及び経過

《個性の発揮》～蒜山～

“牛舎跡、をベースとし、乳牛が暮らしていた個々のコンパートメント構造物を活用して、各自の宿泊環境を創作する。

→まさに、創意・工夫。独自性を競う雰囲気生まれていた。

《好奇心による素材の発見》～櫃石島～

“島としての自然、と”橋脚の島としての構造物、が同居する環境の中に、生活と遊びの素材を見つけていく。

→ “架橋の横っ腹を貫く歩道、の探索散歩に出たところから、基地材料集め→食料調達→漁船への乗船と発展していった。

《愉しみの創出》～とのやま山荘（玉島）～

“自然の森に手を加えて遊ぶ天才、のようなおじいちゃんが拓き続け、夢中で遊ぶ背中につづいて自分たちの愉しみを創出していく。

→ここでは、子どもたちの造作技術の上達や工夫が随所に見られた。

《現地調達へのこだわり》～白石島～

「基地の材料・部材」そして「食料」を、もともと島にあるものを活かすことにこだわってみる。

→竹を調達可能な場所・漁撈可能な場所を、交渉コミュニケーションによって獲得し、それぞれの活動を進めていた。

活動の成果・効果

〔交渉コミュニケーションの積極化〕

とくに発展のあった成果がこれ。地域の方々との交渉に臨み、活動場所や資源調達の承諾をいただく。もちろん、最初は我々仕掛け側による“根回しやお膳立てありき、のところからのスタートだが、その小さい成功体験を得たり見たりを経て、次第に積極的・意欲的な姿勢となっていく。地域社会にくい



それぞれの得意分野を考えた役割分担



30時間の基地生活、“火の守り、は随所に



地域の方々との、交渉コミュニケーション



『ドラム缶風呂』には、重要な役割が数々

込む体験が発展している、大きな収穫といえる。

〔スペシャリストの発掘・育成〕

初年度から順調に、☆棲み処づくりの達人 ☆交渉の達人 ☆おたのしみレクリエーション創造の達人 ☆火を操る達人 ☆食料調達の達人 等々… といったスペシャリストたちが、頼もしいまでの成長を遂げている。さらにさまざまな達人たちが、登場してきそうだ。

〔適材適所・役割分担の絡み合い〕

「ここは、私に任せて！」「〇〇さん、ここは頼む！」先に挙げたスペシャリストたちは、けっしてオールマイティなリーダーではない。

様々なスペシャリストが集まり、適材適所での役割分担が絶妙に絡み合った結果、集団としてオールマイティな実行力を発揮する。そんな理想的な社会の縮図のような、“活躍できる、という成功を、子どものうちに体験させられているかもしれない。

今後の課題と問題点

〔今後の課題〕

◇「“オトナの本気、のすごさを見せてやる”ことをめざし、参加者としてのオトナを絡めたプログラムの、モデルづくりを試していきたい。

◇新たな“土地力あるフィールド、にて、そこならではの学習素材・体験素材を活かした活動のモデルづくりを、さらに拡大していきたい。

◇連携して活動のできる組織・団体を、さらに拡大していきたい。

- 代表者：那須啓文 ●所在地：倉敷市加須山
- TEL：090-4141-1883 ●E-MAIL：nike68@true.ocn.ne.jp
- 設立年：2010年 ●メンバー数：15名